

## 積算についての特記仕様書

(森林整備工事)

- 1 本工事の設計図書及び参考資料に明示された積算方法が積算基準と異なる場合は、本工事の設計図書及び参考資料に明示された積算方法で算定すること。
- 2 本工事の設計図書及び参考資料に明示された積算方法が積算基準と異なる項目については、新潟県森林整備工事請負契約条項（以下「請負契約条項」という。）第19条に該当するとし、設計変更の対象とすることができる。
- 3 本工事の設計図書及び参考資料に明示された積算方法と積算内容が異なっていた場合において契約を締結する場合、請負契約条項別表に定める請負金額を変更する場合の算定式における元設計額は積算基準に基づく設計額を用いることとし、このことについて発注者は当初の契約後速やかに受注者と協議する。
- 4 発注者は、公平性確保の観点や適正価格とのかい離などの理由から、本工事の設計図書及び参考資料に明示された積算方法による内容で入札及び落札決定をすることが不適当と判断した場合、入札及び落札決定を中止することができる。

概算数量発注取扱い特記仕様書

全 体

一 部

を概算数量で発注している場合

1 本工事は、標準図法（標準横断図、代表断面図等）及び簡易方法による概算数量で積算を行い、発注している。

その対応工種は、本工事費内訳書中の

全 工 種

一部工種

である。

2 請負業者は、当初契約内容に基づく工程表を建設工事請負基準約款の定めるところにより提出するものとする。

3 請負業者は受注後、発注者から貸与される実施設計図（工事区間内の詳細設計横断図及び構造図等を含む）に基づき、契約締結後1ヶ月以内に工事現場を照査し、その結果を監督員に報告するとともに、施工計画書を提出し、監督員の承諾を得るものとする。

また、これらの内容に変更が生じた場合には、変更に関する事項の変更施工計画書を提出し、監督員の承諾を得るものとする。

4 請負業者は、貸与された実施設計図書及び必要に応じて監督員の承諾を得た施工図面に基づき施工するものとする。

5 請負代金額の変更は、承諾書・指示書及び施工完成図面（出来形により実施設計書等の施工図面を修正したもの）等に基づいて行う。

（注）（ ）部は該当事項を選択又は該当工種を記載すること。

# 根株、伐採木及び末木枝条の取扱い特記仕様書

## (適用範囲)

- 1 この仕様書は、本工事に伴い生ずる根株、伐採木及び末木枝条（以下「根株等」という。）の取扱いについて適用する。  
ただし、伐採木については、補償対象外物件に限るものとする。
- 2 この仕様書に示されない事項については、新潟県林業土木工事標準仕様書によるものとする。

## (現場内利用)

- 3 自然還元利用
  - (1) 受注者は、根株等を当該現場内で森林への自然還元として利用する場合は、あらかじめ利用地の選定等について監督員と協議するものとする。
  - (2) 受注者は、根株等を自然還元利用した場合は、根株等が下流へ流出するおそれがないように、安定した状態となるよう処置（必要に応じて、柵工等を適宜設置）しなければならない。
- 4 工事用資材利用  
受注者は、根株等を当該現場内で工事用資材として利用する場合は、あらかじめ利用方法等について監督員と協議するものとする。

(注) 森林内の工事現場における根株等の取扱いにおいて、生活環境保全上支障のない形態で自然還元利用又は工事用資材利用することは、当該根株等は廃棄物として規制する必要のないものである。

## (その他)

- 5 現場内利用以外の根株等の取扱いについては、施工計画書の作成時に適切な処理先を確保しなければならない。  
ただし、発注者が処理先等を請負工事指定事項総括表等の設計図書に明示（以下「明示条件」という。）した場合は、この限りではない。
- 6 現場内利用及び明示条件等に変更が生じた場合は、設計変更等により対処する。

## 「週休2日適用工事（現場閉所）」（令和7年10月）特記仕様書

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日（現場閉所）に取り組む旨を協議した上で工事を実施する「週休2日適用工事（現場閉所）」（令和7年10月）受注者希望方式の対象案件である。なお、通期の週休2日（現場閉所）について、受注者は協議にかかわらず取り組むものとする。

通期の4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態）を前提に、補正対象経費に通期の週休2日補正係数を乗じて予定価格を作成している。

受注者は、「「週休2日適用工事（現場閉所）」（令和7年10月）実施要領」に基づき、月単位の週休2日（現場閉所）の取組の希望の有無を工事着手前に、監督員と打合簿により協議するものとする。

現場閉所の達成状況より、月単位を希望して月単位の4週8休以上を達成した場合は、月単位の週休2日補正係数に設計変更する。月単位を希望して月単位の4週8休に満たない場合、月単位を希望せずに月単位の4週8休以上を達成した場合は、通期の週休2日補正係数のままとする。通期の4週8休に満たない場合は、補正分を減額変更するものとする。

実施要領及び「積算システムの計算機能で週休2日補正係数が自動的に乗じられる単価コード一覧表」は、新潟県ホームページから入手できる。

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/chisan/1356903835175.html>)

## 利用間伐における選木に関する特記仕様書

- 1 標準地における間伐率及び残存木の配置に準じて選木すること。
- 2 伐採、搬出作業の安全性、作業性の向上を図るため、監督員と協議の上、必要に応じて、一部列状に選木を行うこと。
- 3 選木した立木は、胸高直径を測定のうえ幹にビニールテープ等を巻き、ナンバーリングを行うこと。
- 4 選木完了後伐採前に、現地において監督員の確認を受けること。
- 5 監督員に、選木した立木の本数及び胸高直径を報告するとともに、選木状況写真を提出すること。

# 新潟県営林事業作業標準仕様書

(昭和 60 年 3 月 20 日付け 治第 285 号)  
改正 (平成 5 年 4 月 1 日付け 治第 57 号)  
改正 (平成 11 年 11 月 1 日付け 林第 700 号)  
改正 (平成 16 年 4 月 1 日付け 林第 96 号)  
改正 (平成 18 年 4 月 3 日付け 林第 392 号)  
改正 (平成 20 年 7 月 8 日付け 林第 379 号)  
改正 (平成 21 年 6 月 29 日付け 林第 350 号)  
改正 (令和 7 年 3 月 25 日付け 林第 1115 号)

(趣 旨)

**第 1 条** 県営林事業（県有林・県行造林事業）を実施する際は、新潟県林業土木工事標準仕様書によるもののほか、この標準仕様書によるものとする。また、この仕様書に定めない事項については監督員の指示を受けるものとする。

(地 拵)

**第 2 条** 地拵は、区域内にある木竹・笹・雑草の全てを地際から刈り払う全刈りとする。

2 刈り払った木竹・笹・雑草及び主伐木の枝条は、筋置き又は棚積とする。

3 筋置きは、水平方向に横置きするものとし、筋置き幅は植栽間隔により決定する。

4 やむを得ず寄せ焼きを行う場合は、森林法（昭和 26 年法律第 249 号）第 21 条の規定により、市町村長の許可を受けること。

(仮 植)

**第 3 条** 仮植は、苗木到着後直ちに行う。

2 仮植地は、植栽地に近い管理に便利な箇所を選び、苗木の根と土を十分に密着させるようにし、必要に応じ灌水・排水・日覆・風よけ等の処置をする。

3 水仮植の場合は流水で行う。

(植 栽)

**第 4 条** 植栽は、原則として正方形植えとし、その間隔はすぎ・ひのき類は 2.0m（ha 当たり 2,500 本）、まつ類は 1.8m（ha 当たり 3,000 本）とする。

2 植え穴の大きさは、すぎ・ひのき類は、直径 45 cm・深さ 30 cm 以上、まつ類は直径 30 cm・深さ 20 cm 以上の円形とする。

3 植え付けは苗木の根を広げて垂直に立て、落葉・落枝等が入らないように土を埋め戻し、十分に踏み締め、根本に水がとどまらないようにする。

4 土壌の乾燥しやすいところ及び風当たりの強いところは、深植えとする。

5 植え付けは、強風の日を避け、できる限り無風の曇天又は降雨の前後を選んで行う。

6 秋植えの場合は、健全に越冬させるため、早めに植え付けを行う。

7 苗木は県の指定したものとする。

(根 踏 み)

**第 5 条** 根踏みは、前年度の植栽木について、消雪後速やかに実施する。

2 根際に土を寄せて直立させ、十分に踏みしめること。

3 風・雪害などで抜けかかったり、かたむきの大きなものは、植え直しをする。

(補 植)

**第 6 条** 補植をする箇所は、枯損木を除去した跡地とする。

2 植え付け方法は、植栽にならう。

(雪 起 し)

**第7条** 雪起しは、消雪後速やかに実施する。

- 2 縄起しは、消雪後速やかに実施する。
- 3 縄起しは、雪のため倒伏した林木で成木見込みのあるもののみとする。
- 4 支柱起しの場合は、植栽木の倒伏方向の根際に支柱を立てるものとする。
- 5 雪起しは、倒伏の強いものから行うものとする。
- 6 雪起しの縄は、県の指定したものとする。

(施 肥)

**第8条** 施肥は、植栽木の山側に、下枝の外縁に沿って半円状に散布するものとする。

- 2 肥料の種類、施肥量については、県の指示するものとする。

(下 刈)

**第9条** 下刈は、雑草木類を地際から刈払う全刈りとする。

- 2 刈払いは、つる切りを含めて行うものとする。
- 3 除草剤を使用する場合は、別に指示するものとする。

(つる切り)

**第10条** つる類は、地際から切断するか根もろとも引き抜き樹木から取り除くものとする。

- 2 取り除いたつる類は、束ねるなど再生しないよう処理する。
- 3 古刹剤等を使用する場合は、別に指示するものとする。

(枝 打)

**第11条** 枝打ちは、力枝以下を目標に除去する。

- 2 枝打ちは幹を損傷しないようにし、できる限り幹に接して平滑に切り取る。
- 3 林衣を形成している林縁木の枝は弱度に枝打ちをする。
- 4 枝打ちは、つる類の除去も含めて行うものとする。

(除 伐)

**第12条** 造林木の生育に支障となる雑草木類はすべて除去する。

- 2 雪害等により成木見込みのない折損木及び倒伏木等の不良木は積極的に除去する。
- 3 造林地に自生した天然性有用樹種は保存する。

(間 伐)

**第13条** 伐倒の時は、隣接木及び下層植栽木を損傷しないよう注意する。

- 2 切り捨て間伐の場合は以下によるものとする。

(1) 林木の形質に重点を置き、適正な林分密度（林分密度管理図による。）となるよう被圧木及び隣接木について生長を妨げるものを主体に除去する。

(2) 間伐木は、腐敗を促進させるため、樹幹が地表に接するよう枝払い玉切りを実施する。

(3) 請負者は、施工区域内の伐採全対象木を選木し、胸高直径を測定のうえ幹にビニールテープを巻き、根元に一連番号のマーキングを行うとともに、書面で伐採全対象木の本数・胸高直径及び選木状況写真を監督員に提出しなければならない。

(4) 請負者は、選木完了後伐採前に、現地において監督員の確認を受けなければならない。

**3** 利用間伐の場合は以下によるものとする。

(1) 利用する材の搬出時は、残存木を損傷しないように注意する。

(2) 林内の残材は、腐敗を促進させるため、樹幹が地表に接するよう枝払い玉切りを実施する。

(3) 搬出材については、検知書等、材積が確認できる資料及び集積状況の写真を履行届に添付し、提出するものとする。

(病虫害の防除)

**第 14 条** 森林病虫害が発生したときは、森林病虫害等防除事業実施要領により行うものとする。

**2** 松くい虫等の駆除を行う場合は、別に定められた作業方法により薬剤散布・伐倒・焼却等を行い、再発生しないようにする。

(野兎予防)

**第 15 条** 薬剤を使用する場合は、製品毎に定められた用法・用量を遵守し森林に薬害を与えないよう注意しなければならない。

**2** ネット・ワラ等を使用する場合は、苗木の頂端部を枝で包み込むと共に、ネット等がはずれないように注意する。

(森林作業道等の開設・補修)

**第 16 条** 森林作業道の事業の実施については、新潟県森林作業道作設指針に準ずるものとする。また、林業専用地（規格相当）の事業の実施については、新潟県林業専用地作設指針に準ずるものとする。

(歩道の開設・補修)

**第 17 条** 開設の場合の幅員は、1.0m を原則とし、歩行及び資材運搬に支障となる立木竹・笹・雑草を伐倒又は刈払いするものとする。

**2** 流水又は滞水のおそれのある箇所には、必要な廃水処置をする。

**3** 補修とは、歩行及び資材運搬の安全を確保するため、崩落土の除去・路面の整地・排水施設の整理・支障木の除去及び雑草の刈払い等とする。

(施工管理)

**第 18 条** 請負者は、新潟県が定める「林業土木工事施工管理基準」により施工管理を行い、その記録及び関係書類を直ちに作成、保管し、完成検査時に提出しなければならない。

ただし、それ以外で監督員からの請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

なお、「林業土木工事施工管理基準」が定められていない工種については、監督員と協議の上、施工管理を行うものとする。



# 朱鷺仕様書

## －トキの野生復帰を支援するための特別仕様書－


佐渡地域振興局 農林水産振興部（森林・林業）

新潟県では、国・佐渡市をはじめ、関係団体一丸となって「トキの野生復帰」への取り組みを行っているところです。  
治山事業・林道事業・造林事業等の実施にあたっても、トキや自然環境に配慮した工事を進めていくために、この仕様書を添付します。

### トキに関する連絡体制の確立

- ・トキに関する最新情報（居場所・観察場所 等）が共有・有効利用されるよう、報告は確実に行ってください。
- ・トキを現場付近で見つけたら、速やかに監督員へ報告するとともに、下記へ連絡してください。

#### トキに関する連絡先

- トキの目撃情報等の連絡・相談  
トキ目撃情報専用フリーダイヤル（佐渡市トキ交流会館）  
 0120-980-551 (8:30～17:00)  
FAX: 0259-24-6041（放鳥トキ情報連絡カード記入の上送信。24時間受付）
- 上記時間以外で動けないトキを見つけた時  
環境省佐渡自然保護官事務所 090-2324-4019

### トキとの共生ルールの遵守

- ・次の「トキとの共生ルール」を守りながら、トキのことや「トキと共生する社会の実現」のために自然環境のことを考えていきましょう。

#### トキとの共生ルール

- 1 トキをやさしく静かに見守りましょう
- 2 トキに餌づけをしないようにしましょう
- 3 トキを観察するときは地域に迷惑をかけないようにしましょう
- 4 繁殖期間（3～6月）はトキの巣に近づかないようにしましょう

－佐渡市、人・トキの共生島づくり協議会、トキの野生復帰連絡協議会－